



新春号

< 発行 >

社団法人 松山市シルバー人材センター
 所在地 〒790-0808 愛媛県松山市若草町 8-3
 TEL (089)933-7373
 FAX (089)933-0131
 URL <http://m-silver.sakura.ne.jp>
 Eメール matuyamasc@sjc.ne.jp



水彩画「高浜港のフェリー」

目次

- P11 表紙
水彩画「高浜港のフェリー」
会員 山口 定男
- P12 新年のご挨拶
麻生 俊介 理事長
野志 克仁 松山市長
センター役員
- P13 年男女新年の抱負
- P14 理事会報告
平成22年度 第三回定例理事会開催
- P15 現場訪問記
「廃食油再生」へ働く
- 開幕・将棋《問題》
- P16 S7
賛助会員新春懇談会 (その①)
シルバー人材センターにおける
高齢社会化対策と企業との関わり
- P18 地域班だより
平成22年度「地域懇談会」を振り返って
- P19 若草会だより
日帰り旅行記 会員 橋本 寿子
忘年会
- 俳句
- P10 会員の広場
有志で野菜作りを始めました
堀江 A 班 林 英行
みんなで楽しみたい
堀江 A 班 舟川 鉄夫
- 開幕・将棋《解答》
- P11 我がまちの美化は我が手で
地域ボランティア活動
- P12 事務局だより
年会費の改定について
「シルバーサロン事業」の協力会員募集
- 編集後記

これくらい 軽い気持ちが 事故のもと

(社)松山市シルバー人材センター 平成22年度「安全就業スローガン」最優秀作品 (山崎鐵雄さん作)



理事長
麻生 俊介

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい新春を健やかに
お迎えのことと存じ、心よりお喜び
申し上げますと共に、皆様方にとりまし
て、本年が温もりと笑顔に包まれた一年
となりますようにお祈りいたします。

さて、昨年を振り返りますと、鳩山首
相の退陣と菅内閣の誕生、一連の尖閣問
題、円高、記録的な猛暑などが思いださ
れますが、未だ生活の不安要素が山積み
している状況となっております。

シルバー人材センターにおいては、昨
年も国の事業仕分け作業において、一昨
年度の仕分け結果の着実な実施が求めら
れ、一層の補助金の縮減が必至となるな
かで、皆様には署名活動を通してセンタ
ー事業の支援要請活動にご協力頂き、現
在も国と折衝が行われているところでご
ざいます。

さて、当センターは本年、設立二十五
周年を迎えます。昭和六十二年に設立以
来、会員数は三千名を超え、事業実績も
十一億円を突破するなど、随分おおきな
組織に成長して参りました。

また、現在、平成二十四年度中に公益
社団法人への移行を目指してその準備に
当たっておりますが、今後の事業展開を

踏まえ、第四次中・長期計画の策定を並
行して進め、会員憲章と経営理念を定め、
センターのビジョンを明確にし、更なる
飛躍を目指して参る所存でございます。

二十五周年を迎える本年は、会員の皆
様のご協力のもと、住みなれた誇れる松
山で、誰もが安心して暮らせる町づくり
の一翼を担わなければなりません。

そのためには、当センターならではの
事業の拡充と、新たな就労分野の開拓を
図り、会員の皆様の就労機会の確保と、
地域に貢献する団体として活動を充実し、
共に、豊かな地域社会の創造に取り組み
ことを年頭の目標に掲げ、新年のご挨拶
と致します。



松山市長
野志 克仁

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい新春をお迎えの
ことと心からお喜び申し上げますととも
に、平素から市政の推進に格別の御支援
と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、長引く景気低迷から持ち直し
の兆しが見えながらも、まだまだ、先行
き不透明な年でありました。

一方、小惑星探査機「はやぶさ」の地
球帰還やノーベル賞受賞等により夢や希
望が湧く年でもありました。

本市では、スペシャルドラマ「坂の上
の雲」の第二部が放送されるなど、坂の
上の雲のまち効果の継承・発展による地
域経済の更なる活性化を大いに期待して
いるところであります。

このような中、シルバー人材センター
におかれましては、高齢者の就業機会の
確保のため、積極的な営業活動を行うと
ともに、緊急雇用対策にも取り組んでい
ただき、感謝を表する次第でございます。

さて、我が国は、六十五歳以上の高齢
者が五人に一人という超高齢社会となっ
ており、高齢者の方々が長生きして良か
ったと思える心豊かな長寿社会の実現が
重要であると考えております。そのため
「『誇れる』福祉・医療で笑顔に」を大
きな柱として、「一人でも多くの人を笑
顔」にできるような、「全国に誇れる、
わがまち松山」の実現に取り組んでまい
る所存です。

どうか、皆様方には、これまで培われ
た経験と知識をいかされ、活力ある長寿
社会の実現に向けて、より一層のお力添
えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、松山市シルバ
ー人材センターの今後ますますの御発展
と会員の皆様の御健勝・御多幸を心から
お祈りいたしまして、新年の御挨拶とい
たします。

謹賀新年

役職員、会員が
力を合わせて
素晴らしいセンターに



- | | |
|------|-------|
| 理事 | 麻生 俊介 |
| 副理事長 | 熊野 伸二 |
| 副理事長 | 乃万 卓也 |
| 常務理事 | 水口 一 |
| 理事 | 大原 英記 |
| 理事 | 谷口 和枝 |
| 理事 | 能田 幸生 |
| 理事 | 橋本 廣重 |
| 理事 | 日野ひとみ |
| 理事 | 松尾 幸弘 |
| 理事 | 馬淵エツ子 |
| 理事 | 田中 郁夫 |
| 理事 | 中野 幸博 |
| 理事 | 松井 正行 |
| 理事 | 持主 桂子 |
| 理事 | 森 孝謙 |
| 監事 | 山本 昶 |
| 監事 | 宮内 一夫 |
| 監事 | 河野 啓一 |

年男年女新年の抱負

卯年生まれの会員に新年の抱負を語って頂きました



石井 E-2
日野 信子

シルバーに入会して十年がたちました。あつという間の十年でした。良き仲間と出会い、いろいろな事を学びました。その間二度の入院生活を送りました。健康の大切さを実感しました。幸いにして元気になり退院できました。健康こそ一番の財産です。自分の足で好きな処に出掛けられる。自分の好きなことができる。何とすばらしいことでしょう。一日は長いけど一年は短いといわれま

す。現実を見つめ、身の丈にあった生活を送りたいと思つてます。小さいことにくよくよせず、笑いのある毎日を送つていこうと思つてます。

卯年です。ピョンピョンはねて楽しく生きていきたいと思つています。



小野 A
城 知暉

入会して早八年目でやっと作業に慣れて来た所です。今思うに松山での永住を決めてから、今後の人生設計を考えた結果、在住の家に老木の松が三本ある事から剪定作業を思い付き「市の広報」の剪定講習や「緑化センター」での講習を受

けながら剪定班に入りました。しかし、元の会社からの依頼で海外技術指導や観光で長期に休む事が有り、その都度ご迷惑が掛かると思い班から離脱すること二回、現在は三人目の班長の下で作業している次第です。

今では軽トラを始め、全ての剪定道具を揃えました。昨年度は動噴も手に入れて頑張つてはいますが、まだまだ未熟の為に近所の剪定業者の指導を受けると共に本やインターネットから剪定方法等を学びながらセンターの期待に応えられる様に今年も日々努力をして頑張る所存です。



道後 A
西内 トシエ

シルバー人材センターにお世話になり七回程になります。一昨年は仕事の帰りで雨の中で転んで、足首を骨折して入院したりして大変な事になりました。昨年は事故もなく無事仕事も前の仕事先へ復帰出来て、楽しく百二才の母を介護しながら行っています。今年私の歳「うさぎ」ピョンピョンはねて仕事にサークルにレジャー、シルバーの行事に参加し、仕事ももう少しほしいと思つています。体に気をつけて、大いに羽ばたこうと思つています。よろしくお願ひします。



味生 A-2
山本 功

ホップ・ステップ・ジャンプ・飛躍の卯年・七度目を迎えました。シルバー人材センターに七年、JR松山駅前駐輪場業務(料金徴収・管理)に就き五年が経過し三月末終了します。松山市の玄関口駅前で観光客をはじめ市民や、学生と毎日接遇し地理・交通・ホテル・店まで案内します。接遇のモットーは、笑顔の会釈と優しく明るい声で「朝昼夕の挨拶」「お疲れ様です」「お気をつけて、いつてらっしゃい」「さようなら」を心掛けています。

入会して多くの人に恵まれ、生涯の友も出来、楽しい就業です。シルバー理念を胸に、卯年三世代六十歳、七十二歳、八十四歳今年も頑張りましょう。



清水 D-2
橋本 正三

私は今年年男、七十二歳になります。縁あって平成十五年五月入会、その頃開催された「パソコン講座」でワード、エクセルと勉強させて頂きました。続いて財団法人ニューメディア開発協

会の「シニア情報生活アドバイザー」の認定を頂き、教わる側から教える側へと「悠優パソコン教室」で活動させて頂いております。経験豊富な仲間の中で学ばさせて頂きながらスキルアップ出来ることに感謝です。

「継続は力なり」の格言どおり一日一センチでも前進できる自分でありたいと思ひ精進しております。一人よがりではなく仲間の中で磨かれるのが一番。

シニアの仲間作りに励みたいと思うと同時に、一層パソコンのスキルアップを図りたいと思ひます。



味生 A-2
目見田 則子

指折り数えて年女は何度目？今年で片手の指では足りなくなりました。シルバー人材センターに入会して五年になります。これまで様々なジャンルに参加することで仲間の輪もでき、元気に楽しく歳月を重ねてこられましたのも、よき先輩や会員の方々のおかげと感謝いたしております。今年公益法人化に向けて事務局の方々のご苦勞も一方ならぬものと拝察いたします。

昨今の社会情勢の移り変わりはとてども激しく目を凝らすことばかりですが、兎さんより亀さんの人生で頑張りたいと思ひます。古きものを大切に守りつつ新しいことにも挑戦していこうと思ひます。最後になりましたが、年頭に当たり皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

理事会報告

平成二十二年 度 第 三 回 定 例 理 事 会 開 催

期 日 十一月二十九日(月)
場 所 ハーモニープラザ3階

議事審議内容

《第一号議案》行政刷新会議・事業仕分けの評価結果に係るシルバー人材センター事業予算確保のための要望について

この度、第3弾の行政刷新会議の再仕分けにおいて、「事業仕分け第1弾の評価結果の確実な実施」という評価が行われた。既に、平成二十三年 度概算要求までの縮減額は二十七億円と大幅なものとなっており、さらなる補助金の削減は、当センターの事業運営に大きな障害が生じるものとなる。「高齢者が安心して暮らせる社会」の実現に向けたシルバー人材センター支援事業補助金の現状維持を求める要望書、並びに署名活動を行うことが承認された。

《第二号議案》公益法人移行に伴う収益事業の取扱いについて

第五回公益法人制度改革に伴う運営検討委員会において公益認定移行に伴い、当センターが行う介護保険事業を収益事

業とすることについて、検討・審議を行った結果、介護保険事業を収益事業として展開していくことを決定したことについて理事会で承認された。

《第三号議案》平成二十二年 度収支補正予算(案)について

平成二十二年 度収支予算について、収支補正予算(案)を策定し定款第三十条第2項の規定により承認された。

《第四号議案》シルバーふれあいサロン事業について

平成二十二年 度事業計画に基づき、福祉サービス事業、介護保険事業の利用者及び当センターの長寿会員と福祉に関する就労会員のふれあい機会と、集う場の

確保に当たり、「ふれあいサロン」を開設することについて、事業の方針(案)を策定し承認された。

○シルバーふれあいサロン事業の目的

①センターの長寿会員・高齢者ケアに係る若年会員を中心とし、当センターの介護サービス利用者を含めて、「いくつになっても社会参加・社会貢献を目指す」ことを前提とする。

②人が、社会のニーズを見つけて社会に関わり続けるためのテーマを「食」とし高齢者が集うこと、食を通じて人と交わることの大切さを当センターの事業のテーマとし開設する。

③高齢者の食のあらゆる場面で「ふれあいサロン」に集う高齢者の能力や経験を活用し、地域社会に有形・無形のサービスを提供する。

○開設の始期

◇平成二十三年四月(予定)から、松山福祉事務所内で相談業務を主とした談話スペースを開設する。

◇平成二十四年度「ふれあいサロン」開設を目指す。

報告事項

第一回第4次中・長期計画策定委員会開催報告。開催日：平成二十二年十一月十七日(水)

議事の経過要旨

事務局から、第4次中・長期計画策定に当たり、会員憲章・経営理念に関する

基本視点について説明があった。その策定に当たするため、会員意識調査とお客様満足度調査を実施することについて報告があり、次回、調査分析結果報告並びに憲章・経営方針(案)等を決定することとした。

平成22年度上半期の実績

区 分	項 目	受注件数 (件)	就業延人数 (人日)	契約金額合計 (円)	
公民内訳	公共事業	123	22,531	126,804,965	
	民間事業	一般企業	819	39,197	174,896,871
		個人家庭	4,491	27,613	110,765,197
		独自事業	9	1,603	5,695,103
	緊急雇用対策事業	5	3,805	20,793,366	
	介護保険事業	3,938	10,587	130,220,237	
	一般労働者派遣事業	305	8,669	43,758,290	
合 計		9,690	114,005	612,934,029	

(5)

「廃食油再生」(動く)

家庭で料理に使って捨てられる廃食油を集め、精製してディーゼルエンジン用燃料に再生する愛媛県委託の「廃食油再生燃料普及事業」が始まって、間もなく丸二年になる。

当センターでは、現在、緊急雇用対策事業にて雇用した十八人が同事業に携っており、十二月上旬、その現場を訪ね、寒さの中、辛抱強い仕事ぶりなどを見せてもらった。

事業の拠点は、当初、センター本部に置いていたが、本格稼動するに至って、現在は、西長戸町の県道と気衣山線沿いに移っている。



西長戸事業所

事務所と精製プラントを備え、統括者の竹村四郎さん以下、普及員らが週五日間、それぞれの役割を分担して

活動している。仕事は、まず廃食油回収から始まる。事業開始後二年近い間に、市内全域の百近い自治会、町内会と回収日時などの調整が出来上っており、毎日、普及員二名ひ

と組となって予定の回収場所へ出掛ける。現場訪問日には、市北西部の二団地で回収した。指定場所に着いた普及員は、目印の「廃食油を回収しています」の旗を揚げ、冷たい風の中で約二時間、住民からの提出を待つ。

しかし、提供者はポツリ、またポツリとまばら。竹村統括員によると、一度の回収で廃食油を提出する比率は、世帯数の五%程度。二カ月〜三カ月に一度提出する人もあるので、年間を通じると二五%程度になるといふ。

現場訪問記

集められた廃食油は、拠点の精製プラント、濾過装置などで再利用が可能な精製品に仕上げられ、ディーゼル機関の自動車や船の燃料として再利用者へ提供される。

廃食油精製工程では、メタノールや水酸化カリウムなどの添加物があり、原料油との総量は増加するが、精製油は、その七〇%程度に減少する。

回収担当普及員によると「町内会によっては非協力的なところも多い」ということで、資源リサイクルやエコが声高に叫ばれる割に、市民の理解、協力はまだまだ低調の様子。

センター会員や地域班長らは、自ら事



廃食油回収風景

← 協力者に粗品(材)進呈



精製プラント現場

業所へ廃食油を持参する人もあるほか、協力的な町内会長は、自分で回収して、回収班へ連絡してくれる人もいふという。

なお、月間の処理量は一定しないが、十一月は一八〇〇リットルに上った。一昨年七月から昨年十一月までの累計では、一七五〇〇リットルとなっている。

廃食油回収の問合せ先
事務所 TEL 〇八九九二五二一六三七



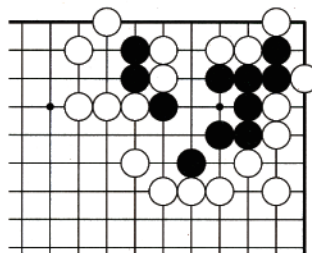
詰碁

14 白の弱点

黒番

☆☆

白には明確な弱点があります。そこを衝く手順を考えます。



(解答は10ページ)

日本棋院出版「実践風詰碁」より

詰将棋

桂の打ち場所

● 持ち駒 桂



持ち時間5分

ポイント 実践的な駒取りがある

成美堂出版「新しい詰将棋より」

(解答は10ページ)

**シルバー人材センターにおける
高齢者社会化対策と
企業との関わり**
(その①)

開催日時 平成23年1月6日(木)
午後1時～3時

開催場所 東京第一ホテル3F「若草」
参加者 賛助会員・シルバー人材センター
(五十音順・敬称略)

株式会社ヘルシープラネット

代表取締役 今川 弥生

四国メデイコム株式会社

代表取締役 金子 文理

有限会社能力開発システム研究所

代表取締役 木曾 千草

岡田印刷株式会社

代表取締役 桑波田 健

株式会社バルソフトウェアサービス

代表取締役 高市 眞一

社団法人日本産業カウンセラー協会

理事 田中 節子

株式会社キャップ

代表取締役 森 美佐子

シルバー人材センター

副理事長 広報担当 熊野 伸二

理事 事業担当 山本 昶

常務理事 水口 一

事務局長 矢野 博志

事務局次長 総務担当 柳原 祐二

熊野副理事長 挨拶

新年明けましておめでとうございます。

賛助会員の皆様には健やかに新年を

お迎えの事と存じお慶びを申し上げます。本年も、何卒よろしく申し上げます。

さて、昨今の厳しい高齢者を取り巻く環境下において、国の来年度予算案が、年末に閣議決定され、シルバー人材センター事業関連予算は平成22年度と比べ、約20%の大幅な減額となるなど、当センターにとりまして、一層厳しい環境におかれることとなりました。

当センターは来年度設立25周年を迎えます。年頭に当たりまして、財源確保と存在価値が問われる中で、当センターの在り方を見定めるため、本日賛助会員の皆様方

にお集まり頂き会員をはじめ、定年退職後高齢者の就業機会確保や社会参加活動のための営業活動を如何に展開するかをテーマとし、懇談会を開催させて頂きま



す。

昨日行われた、経済3団体の新年会で、大企業のリーダーからは、「決断」「実行力」を問う声が相次いだように、課題を共有し、論じた内容に



は明確な意思決定をもって実行に移すことが不可欠だと存じます。

実行力のあるセンターとして、卯年の幕開けをスタートさせて頂きたいと存じます。どうか、忌憚のないご意見を頂戴したいと存じます。よろしくお願い申し上げます。



(田中) 日本産業カウンセラー協会の田中でございます。今日この懇談会の司会ということで、ちよつと荷が重すぎかなと思つたのですが、司会者というよりはファシリテ

ーターという形で皆さんから自由にご意見をいただけるんじゃないかと、どうとで、どうぞ

ぞよろしく願ひいたします。早速ですが、賛助会員の皆様の自己紹介から進めさせていただきます。



(金子) 初めまして、四国メデイコムの金子と申します。また、色々とお世話になります。私どもの方は若干ではありますセンターの方から派遣で仕事をさせていただいており、その関係で、賛助会員になって欲しいという要請があり今日に至っております。

私も正直言いましてシルバー人材センターの自身が、ほとんど分かりません。そういう中で、今日皆様と一緒に勉強させていただいて、これから如何にして人材センターを活用して、ベターな関係を継続出来るか、私自身で探らして頂きたいという気持ちで参加させていただいております。



(高市) パルソフトウェアアーの高市と申します。私どもの会社はコンピューターのプログラムを作る会社で、ITを使ってどの様な仕事をしていくか、お客さんに対して便利をどう提案していくかという様な会社です。シルバーとのお付き合いは、今から8年位前だったと思いますが、シニアワーク事業パソコン関係の講習会をシルバーさんより受注して担当させていただいております。

現在シルバー人材センター会員さん10名の方にパソコン教室の運営、そしていろんな地区のパソコン教室にも会員を派遣していただいております。その様な状況を踏まえてお話をさせていただきます。いただければと思っております。



(木曾) 能力開発システム研究所の木曾でございます。人材育成の会社です。シルバーさんとは、シニアワークプログラムを通

じて、例えばそうですね、ちよっと前だと「ばあばママ養成講座」とか、おばあちゃんの子育て支援して活躍していただくというセミナーから、心理相談アドバイザーとか色々と一緒にやらせていただいています。

今日はこの懇談会の趣旨をさつきお聞きしてあなるほどと思ったんです。

こういう機会を設けていただいたということが、まず凄くいいことだなと。個々に普段は、こうしたら、ああしたらとか、それぞれの会社が話し合っていると思うので、こうして一堂に会して新年にあたって特にいいことだなというふうに思いました。



(今川) 私はヘルシープラネットの今川と申します。私どもの会社も皆さんと同じように講座の方を担当させていただいてもう8年位になります。

3〜4年位前からフードビジネスという講座も受け持たせて頂いて食を通じた健康づくり、また食からの提案という事をメインにさせて頂いております。

で、卒業というか講習会修了者の方々にお仕事として、私どもがさせて頂いている学校のアシスタントとか、弊社がやっております料理講習のアシスタントをしていただいたり、いろんな所でお力を貸して頂いております。

またシルバーさんのお付き合いをさせて頂いていただいている上で、やはり介護とがそちらの方に私自身が興味をもってし

まったので、今回デイサービスをするのととし、来週から開設させていただくことになっております。

シルバー人材センター様の就業・仕事アシスタントをされている会員で看護師さんとかヘルパー2級の資格を持っていらっしゃる方とか、沢山ご応募いただきまして、その中から何人かを選ばさせて頂いて、今度一緒にお仕事をさせて頂いた

だくという事になっております。また、本日のプログラム文書に「win・winの関係」って書いてありますが、私どもはセンターさんと一緒に「win・winの関係」を続けさせて頂けたら有り難いと思っております。



(桑波田) シルバーさんのお付き合いは、そうですね、何年前かちよっと正確には覚えていないんですが、関わりは私どもが、シルバーさんの派遣を利用させて頂いたのがきっかけです。

シルバーさんがあるので私は派遣と申しまして、具体的には、専門的には職業紹介ではないかと思うんですが、そこから紹介をいただいて使ってみると、とても仕事を一生懸命やって頂くんですね。仕事がなかったら「仕事ないんですが、次無いんでしょうか？」とかそういうふう

に言ってくれます。極めつけはですね、最後に来られた方が「またどうぞ次もよろしくお願ひしますね。」と営業して帰られるという、さすがシルバーさんだなどだんだん心が、氣

持ちが移りまして現在のこの関係になっております。

今日このように懇談会というか新年早



(森) 株式会社キャップの森美佐子と申します。

でございまして、社員教育ですとか、人材派遣をやっている会社でござい

ます。シルバーさんの御縁は、先程おっしゃいましたようにシニアワークプログラム講座などを、私どもも担当させて頂いているところがございます。

今おっしゃってたので、あつなるほどと思いましたが、今、割とクライアント様のご要望が、多岐に渡ってまして、なかなか自分の所がかかっている講師だけでは対応できないところも非常に多くな

つてきています。あつなるほどシルバーさんのお力を借りていただければいいんだと今、今川さんの話を聞いてなるほどと思いました。

また内容によってはご相談させて頂いただけるといい機会であると、これだけでもご飯を頂いただけでなくて、これも良かったなど、今日何ってよかったなと思

っております。(次号に続く) 「その②」を4月発行の春季号に掲載します。



講座風景

産業カウンセラーになりませんか？

今、気になる資格のNO.1 受講者募集中！

産業カウンセラー養成講座

【応募条件】 産業カウンセラーを目指す方

【締め切り】 3月22日

【受講料】 20万9,500円

申し込み・問い合わせ先 ※年齢制限はございません

(社) 日本産業カウンセラー協会 四国支部

TEL: 089-907-7700

地域班だより



平成22年度 「地域懇談会」を 振り返って

4年目を迎えた「平成22年度地域懇談会」は、7月21日から12月3日までの期間において27の会場で開催され、509名の会員が参加しました。

今年度の地域懇談会では、会員の発案による企画が盛り込まれる懇談会が増え、地域懇談会を通じて、会員主導型の地域班活動の土台が出来つつあることを感じました。

また、懇談会に参加した会員より様々な声をいただきました。なかでも、就業先の確保に関する要望が多く、受身の姿勢ではなく広報を利用したPR・事業所への営業活動を行うなど、新規就業先の開拓を求める声が多かったようです。

そのほか、地域班活動の拡充に向け、サブ班長を置けば班長だけに負担がかからず活動しやすいのではないか等の建設的な意見もあり、班長欠員の地区が何カ所ありましたが、懇談会の中で班長を決めた地区や

地域班活動をスムーズに行えるように班長協力者を決めた所もありました。懇談会終了後に班長と有志で新たな活動計画を話し合った地区もあり、忘年会や親睦会など色々な行事が計画されました。また、地域班活動の為の名簿を作成した地区もありました。

今年度の地域懇談会において、会員の発案により行われた取り組みを紹介します。(紹介済みのものを除く)

①石井C地区

担当理事の挨拶、各地区班長及びプロジェクト長紹介、昨年度の地域懇談会の報告、若草会の活動状況報告、自己紹介までを事務局が行い、後は出席会員だけでビールとお茶菓子での親睦会形式の懇談会を行いました。



石井C地区懇談会

②久米地区

懇談会前の時間を利用して、地域班長が血圧測定を行いました。

③久谷・浮穴地区

懇談会後にイベント企画。会場近くある、国の重要文化財となっている渡部家住宅を有志で見学しました。



久谷・浮穴地区文化財探訪

地域懇談会で会員から出された意見、要望は、今後の事業運営にフィードバックするよう努めたいと思います。

また、懇談会の参加率は16%と、まだまだ一部の会員の参加となっています。会員の積極的な参加が地域班活動の発展に繋がります。より多くの皆さんの協力をお願いします。

今後とも会報で随時、地域班活動に関する取り組みを紹介して参ります。

「デイサービス道後茶寮」を開設

高齢者向け手作り料理で“身体の栄養”と道後の町並みや「落語」・「音楽」などを楽しめる“心の栄養”もご提供いたします。

(スタッフにシルバー人材センター会員さんもおられます)



～ 食事メニューの一例 ～

健康生活提案
株式会社 **ヘルシープラネット**

愛媛県松山市道後町2丁目12-1-303
TEL 089-917-7899 FAX 089-917-7898
E-mail: info@healthy-planet.jp
URL: http://www.healthy-planet.jp

日帰り旅行記

湯布院・深耶馬溪を散策

会員 橋本 寿子

十一月二十一日(日)ピンと身の引き締まるような朝の冷気と、満月に近い素晴らしいお月様に見送られて朝五時半北条を出発、途中参加者を拾いながら六時十分定刻どおり市駅を出発。

伊予灘のベタ風の心を洗われるような景観を見下しながら三崎港へ。そして乗船、参加者は早くも車座になって酒盛り



湯布院民芸村で記念撮影

をする人、三々五々会員同士交流を深めながら佐賀関港へ。

湯布院民芸村にあるお食事処「銭屋」で食事後、湯布院散策を約一時間。ショッピングする人、金鱗湖で自然を楽しむ人(紅葉が絶景だったとか)、また温泉に入る人もいました。

さて次は問題の深耶馬溪へ。バスガイドさんの予想どおり

若草会だより

並大抵ではない渋滞にかかり、引くも進むもままならず、一時間半で行ける行程が倍の三時間。口には出さねどイライラはつのるばかり、周りの景色を見るゆとりもなく言うこの身体でやっと到着。

深耶馬溪では、長蛇の列のトイレ休憩をすませただけで帰路へ。二便遅れの船便に乗船、満月に迎えられる無事帰宅しました。

感想は、土日が参加し易いなどの事情もあるのですが、出来るなら花見や紅葉狩りの季節はウィークデーに実施してほしいと思います。

しかし、小春日和の天候に恵まれた事もあり、不平を言う人もなく、来年も楽

しい企画をしてほしいと、伝言をする人が多かったと思います。最後になりましたが、若草会の役員さんに謝意を表したいと思います。

忘年会

本部・北条・中島 それぞれで実施

若草会主催の忘年会を、本・支部それぞれが3地区で行いました。

中島支部が少し早めの11月15日「つるや」で、12月10日に本部が「いよてつ高島屋」、北条支部が「登佐屋辻町店」で実施し、一年を振り返り、語り合い、踊り、歌いながらの楽しいひと時を過ごし来年もみんな頑張ることを誓い合いました。



本部忘年会 (於: いよてつ高島屋)

俳句

始発待つ駅の面々息白し
矢野勝三

太鼓音の乾きや冬の能
大林とみこ

年惜しむや身边に得し人遊きし人
野口由枝

笹竹の波立てるかに煤払ひ
武知 恭二

着ぶくれや自我を捨てたる好々爺
岡田 幸燕

見送りの手を振るホーム息白し
井ノ口カズ子

すぐそこに波音聞こゆ黄水仙
井上 由美子

参拝の拍手の音息白し
和田 幸信

底冷えや声の語りし立ち話
平本 故洩



有志で野菜作りを始めました

堀江A班 林 英行

堀江A班では、この春から班長さんのご好意で無償で畑を借用し、有志六名で野菜作りを始めました。

会員の広場

何よりも親睦を図る事を目的として、まずは土に親しむことから出発しました。未経験者ばかり、夏の暑さの中の水やり、引いてもすぐに伸びる雑草、悪戦苦闘はしましたが頑張りのかいがあつて、秋には予想外に沢山のさといも、さつまいもが収穫できました。おかげで、コミセンと福祉センターのバザーで販売するという想定外の楽しみも体験できました。

ただ、今回の初めての野菜作りでは、沢山の方にご協力を頂きました。まず畑に行きますと必ずどこからともなく近所の農家の方が一人二人と見物にこられます。

そして、手取り足取り丁寧なアドバイス、またなんと耕運機で土起こしまでしてもらった事もありました。

おそらく、全くズブの素人の集まりです。見えておれなかったのでしょうか。一同まさに感謝、感激であります。いつか農家の方に負けない野菜を作る事が恩返しであると思っております。さあ、今春には沢山のタマネギが採れそうです。また皆さんに収穫のよろこびをお伝えする事ができるでしょう。興味のある方は是非、私たちの農園へ。”ようこそ”とペットボトルで作った風車と共に大歓迎いたします。

みんな楽しんでます...

堀江A班 舟川 鉄夫

こんにちは！堀江A班舟川鉄夫と申します。松山市シルバー人材センターへ入会致しましたのは3年前リタイヤがきっかけです。”心身共に健康である”との自負もあり、またリズムある生活も必要と思いましたし、年金システムも考えた上でした。

現在月十四日間の仕事をしています。地域班活動の一環の”カラオケ倶楽部”のリーダーをしながら地域の繋がりを絆をつくりつつ、2カ月に1回の定期開催です。このたび、堀江A班と久枝、潮見合同の”カラオケ大会”をしました。そこで思わぬ展開があり大盛況でした。笑顔や笑い声はエネルギーも湧いてきますし個々人の新しい発見もありました。

カラオケ方法も全員参加の「うたごえ喫茶」型も提案しながらスローライフでできればと思っております。

近くのシルバー会員さん是非声をかけてください。一緒に楽しみたいものです。個人的趣味では写真や野菜作りをしています。堀江地区の堀江小学校児童の”田んぼ”があり稲穂が実る頃には、このような案山子(写真)も登場です。身近な風景や地域の人々も、四季を通じて一つとして同じ状況のものが無いのも魅力です。

これからもシルバー会員の仲間や会員以外の人々を通して吸収できること、發揮できることを続けていきたいと考えています。

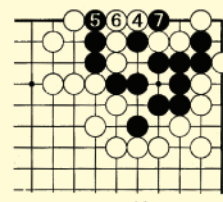
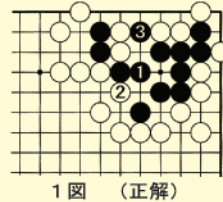


堀江小学校児童実習田の案山子

詰碁 正解

正解図 ヒキ

1図(正解) 黒1のヒキから黒3のワリコミが好手順です。2図(続) 白4には黒5が決め手で、黒7まで生き。



詰将棋正解

5分で初段

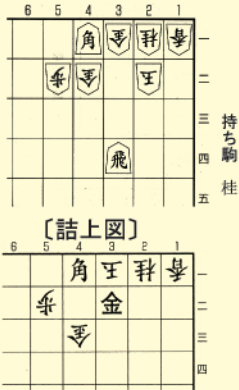
解説

初手▲2四飛は△3三五▲2三角成△4三五▲5五桂△5三五で詰まない。となれば、初手は▲3一飛成。△1三五は▲1四金…で桂余り詰め。よって△3一洞玉と取るがそこで▲4三桂が「金頭桂」の手筋。金の頭に王手で桂を打つ。これでどう応じて詰んでしまう。

詰んでないような感じ

▲3一飛成 △同玉 ▲4三桂 △同金 ▲3二金まで5手詰。

【問題】



【詰上図】



我がまちの美化は我が手で

松山観光地、福祉施設など3回に分けて 地域ボランティア活動

10/23
(土)

12/10
(金)

全国一斉「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」に基づき、「道後公園ボランティア清掃」を行いました。

秋晴れの中、三十九名の会員が参加し、さわやかな汗をかきながら公園内の清掃を行いました。

本部《城山周辺・特別養護老人ホーム3施設》
北条《幼稚園・特別養護老人ホーム》
中島《市道》

毎年恒例の年末奉仕作業、地域とのつながりを深め「地域とともに歩むセンター」の実現に向けた、地域ボランティア活動を行いました。当日はお天気にも恵まれ、百二十名の会員が参加しました。

「お陰様で気持ちよくお正月を迎えられます。」と入所者をはじめ、施設関係者に大変喜んでいただき感謝されました。



道後公園の草取り



俳句の道（平和通り）のゴミ拾い



愛寿荘の庭木剪定

12/23
(木・祝)

NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」第二部の年末の放映により、歴史と文化の我が松山が全国的に注目される事となり、そのために、年末年始に来松される多くの観光客に一層きれいな「松山」を知ってもらおうと、松山城玄関口のロープウェイ街、並びに市内中心部（大街道、銀天街、市駅前）でボランティア清掃を実施しました。

なお、本事業は、当センターの企画提案方式による事業（中予地区観光体験サポート事業の一環として、松山市の観光事業をサポートする事を目的とし、松山市の町美化推進事業に従事している会員が企画提案



大街道のゴミ拾い

しました。

当日は、野志克仁 松山市長、永江孝子 衆議院議員の特別参加もありました。当シルバー人材センターは、麻生理事長を始め、理事多数も参加、会員を含め百二十名を超える参加となりました。

この行事を、報道関係4社が取材し、報道されました。



野志市長と麻生理事長



市駅前で行われたオープンセレモニー

事務局だより

年会費の改定について

平成二十二年度通常総会において正会員会費規程の一部を平成二十三年四月より改定することが承認されました。

改定理由と内容

この度の改定は、国の事業仕分けによる補助金の縮減等により財源確保が厳しくなる中で、当センターがこれまで取り組んできた事業を、今後も継続的に実施するために必要な財源を確保することを目的として、会費額及び徴収方法を改定するものです。

松山市シルバー人材センターはお蔭様で、昭和六十二年に設立以来二十三年間、順調に事業を展開してまいりました。年会費一〇〇〇円を一度も改定せずに今日に至ったのは、国の補助金と、右肩上がりの実績に支えられて、会員負担をお願いしなくても財源の確保が出来てきました。

しかし、この補助金の縮減は、二年間に渡り、約一〇〇万円にも及び国の補助事業に精力的に取り組んで来たシルバーほど大きな痛手となり、更には新しい仕事を確保しても既存の仕事の打ち切りなど、前年度を上回る実績を残すことは難しい状況が続いております。

この度、保険料相当額のご負担をお願い

いする際には、保険料の徹底した見直しにより、これまでより保険料を一人当たり五〇〇円以上削減いたしました。就労先の確保につきましてはこれまで以上に力を入れて取り組む事を決定し、事務局はそのための営業活動を開始しております。

また、今年度、事業計画の中でもお示ししておりますように、会員利便性向上のため、十月からコンビニ収納サービスを開始し、コンビニエンスストアからの会費振込みも可能となりました。今後、公益法人制度改革に対応し、会員の皆様方の活動の更なる充実を図るため、皆様方のご理解・ご協力を頂きますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会費の額

年額三二〇〇円とする。年度途中に正会員となった場合の会費の額は、九月末までの加入は全額とし、十月以降の加入は半額とする。

「シルバーサロン事業」の協力会員募集

平成二十二年度の事業計画に基づき、シルバー会員の方が、気軽に立ち寄り、集える、会員手作りの「(仮称)シルバーサロン事業」を開設することになりました。

当面は、松山福祉事務所の研修室を利用しての開設とし、平成二十四年度の本格的な開設に向けて準備して行きたいと思っております。

そこで、「(仮称)シルバーサロン事業」に関心のある、シルバー協力会員を次のとおり募集します。

- 開設予定 平成23年3月～当面の間
- 開設場所 松山福祉事務所 2F 研修室 (萱町1丁目)
- 開設回数 月2回
- 開設時間 13:00～16:00
- 事業内容 健康管理・相談業務・趣味活動(手芸・囲碁等)・談話コーナーなど、会員の方が自由に参加できる事業を検討中
- 協力会員 ボランティアで参加できる会員(サークル活動をしている方大歓迎)
- 募集期間 1月以降 随時受付
- 連絡先 松山福祉事務所 TEL 089-998-2888 担当 大林・佐野

シルバーサロン 事業概要 (案)

編集後記



◇一年の計は元旦。三百六十五日の始めの日。年々歳々この繰り返しの中で、人は生きて暮らし、また一つ歳をとっていく。さて今年の干支は、ウサギ。その長い耳で辺りの様子を察知し、ピョンピョン跳ねる。わがシルバー人材センターも多様な情報をとらえ、適切に判断し機敏に行動できるような組織に、なりたいたいものである。

◇激動する時代の変化。これにどう対応できるかで私たちの組織は伸びもし、縮小もする。日本の高齢社会化は確実に進んでいる。二十年后には三人に一人は高齢者である。しかし、これに対応できる社会体制はまだ不十分で、自主・自立・共働・共助の理念のもとわがシルバー人材センターの役割はこれからである。

◇問題は、このことを認識し事前に適切に対策を打てるかにかかると。問題認識がシルバー人材センター構成員全てに共有され社会にも伝わらなければ何も始まらない。

◇私たちの会報「シルバー松山」も、昨年十一月で六十号になった。もう一度初心に帰って、気持ちを引き締め、読まれ・親しまれ・方向を指し示す紙面づくりを心掛けたい。(M)